

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス クローバー		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日 ~ 2025年 12月 4日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日 ~ 2026年 2月 18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【子どもの特性を理解した専門性のある支援と個別支援計画の充実】 アンケート結果からは、子どもの特性を理解した支援が行われていることや、個別支援計画がニーズに沿って適切に作成されている点について多くの評価をいただきました。また、「子どもの様子に合わせて寄り添って支援していただくことが伝わる」といったご意見も寄せられ、日々の支援の姿勢について信頼を寄せていただいていることがうかがえました。	本事業所では、子ども一人ひとりの特性や発達段階、ご家庭のニーズを丁寧に把握することを大切に、日々の関わりや記録、保護者の皆様との情報共有を通して支援を行っています。また、ガイドラインに基づきながら、子どもに必要な支援内容を具体的に設定した個別支援計画を作成し、職員間で共有しながら計画に沿った支援の実施に努めています。	今後も子どもの変化や成長を丁寧に捉えながら支援内容の見直しや振り返りを行い、より実態に合った支援を提供できるよう努めていきます。また、職員の専門性向上のための研修等にも取り組み、支援の質のさらなる向上を図っていきます。
2	【保護者との信頼関係と丁寧な情報共有・相談体制】 アンケートでは、「相談に乗ってくれる」「小さな成長も伝えてくれる」「寄り添った支援に感謝している」といった温かいご意見を多くいただきました。日頃から子どもの様子を保護者の皆様と共有しながら支援を進めていることが、安心感や信頼につながっているものと考えます。	連絡帳や面談、送迎時の会話などを通して、子どもの様子や成長、課題について保護者の皆様と共有することを大切にしています。また、相談しやすい関係づくりを心がけ、保護者の皆様からの相談や申し入れに対して迅速かつ丁寧に対応できるように体制づくりに努めています。	今後も保護者の皆様の思いや不安に寄り添いながら、面談や情報共有の機会を大切にしていきます。また、保護者同士や職員と交流できる機会についても、参加しやすい形を検討しながら充実を図っていきたくと考えています。
3	【安心して過ごせる環境づくりと楽しく通える事業所運営】 アンケートでは、「子どもが通所を楽しみにしている」「安心して通えている」といった回答が多く見られ、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりや活動の工夫について評価をいただきました。また、活動プログラムや長期休みの企画を楽しみにしているというご意見も寄せられています。	子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを大切に、活動内容が固定化しないよう季節行事や様々な活動を取り入れるなどの工夫を行っています。また、空間の構造化や視覚的な支援など、子どもの特性に応じた環境設定にも配慮しています。	今後も子どもたちが安心して楽しく過ごすことができるよう、活動内容や環境づくりの工夫を継続していきます。また、地域との交流や行事についても、参加しやすい形を検討しながら機会の充実を図っていきたくと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【事業所からの情報発信や周知の伝わり方】 アンケートでは、職員配置や研修等について「情報をうまく把握できていない」「連絡帳をみていないことがある」といったご意見が見られました。情報発信は行っているものの、保護者の皆様に十分に伝わっていない場合があることが課題として考えられます。	おたよりや連絡帳、口頭での伝達など複数の方法で情報発信を行っていますが、日々忙しい中で保護者の皆様が情報を確認するタイミングが限られている場合があります。また、連絡帳を子どもが出し忘れるなどの状況もあり、確実に情報が伝わらないことがあると考えられます。	おたよりや連絡帳、送迎時の伝達などを通して情報の周知を継続するとともに、必要な内容については改めて声かけを行うなど、情報がより伝わりやすい方法を検討していきます。
2	【事業所向け研修や交流機会への参加のしやすさ】 アンケートでは、「参加したいが日程が合わなかった」「また機会があれば参加したい」といったご意見があり、保護者向け研修や交流の機会について参加しにくい場合があることが課題として考えられます。	研修や交流の機会は設けていますが、家庭の予定やきょうだい児の行事等と重なる場合もあり、参加が難しい状況があると考えられます。また、実施回数が限られていることで参加の機会が少ないと感じられます。	研修や交流機会については開催方法や周知方法を工夫し、保護者の皆様に参加しやすい形を検討していきます。また、情報共有の方法についても工夫を行い、より多くの保護者の皆様に参加していただけるよう取り組んでいきます。

3	<p>【地域との交流や活動機会】 アンケートでは、地域の子どもの交流について「わからない」「参加していない」といった回答が一部見られました。地域との交流機会について、十分に認識されていない場合や参加機会が限られている可能性が考えられます。</p>	<p>地域との交流活動は実施しているものの、参加する機会が限られている場合や、タイミングが合わず参加できない場合があることが考えられます。また、交流の機会について十分に周知できていない可能性もあります。</p>	<p>地域との交流活動については、状況に応じて参加しやすい形を検討しながら実施していきます。また、交流活動の内容についても保護者の皆様に分かりやすく伝えられるよう周知方法の工夫を行っていきます。</p>
---	--	---	---

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービス クローバー		公表日		令和 8年 3月 20日		
		利用児童数		利用児童数27人(家庭数24)		回収数 21		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20			1	建物の構造上広さを確保するのは難しいので、それなりに楽しんでいるのではないかと思います。	建物の特性を踏まえながら、各スペースの使い方を工夫し、子どもたちが安心して活動できる環境づくりに努めてまいります。今後も安全面に配慮しながら、活動しやすい空間づくりを心がけてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1			・はいと答えていますが、適切であると思っております。お便りなどで配置数を提示されているのかもですが、情報を上手くキャッチできていません。 ・もう少し増えてくれたらと思います。	現在、利用児童10名に対して職員5〜6名の職員体制で支援を行っています。今後も安全面や支援の質に配慮した職員配置を心がけるとともに、職員体制についても分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1			・見る情報が得意な子にもわかりやすくして過剰なやさしいと思います。 ・履換の時になど、限られた環境の中で工夫されているのをとてもありがたかったです。	建物の構造上、段差がありますが、マットを敷くなど安全面に配慮しながら環境設定を行っています。履換の際に分かりやすい表示などの工夫を子どもたちが安心して過ごしやすい環境づくりに努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				・少し室内が暗いような気がします。	ご意見を踏まえ、室内の照明について見直しを行い、暗かった箇所の照明をLEDへ変更しました。今後も子どもたちが心地よく過ごせる環境づくりに努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				・本人が好きなプログラムを伸ばしてくださるよういろいろな準備をしてくださっており、感謝です！	子ども一人ひとりの特性や興味・関心を大切にしながら、それぞれに合った支援や活動を取り入れています。今後も子どもたちの強みを伸ばせるよう、専門性を活かした支援の充実にも努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					HPIにて公表している支援プログラムに基づき、子ども一人ひとりの特性や状況に応じた支援を行っています。今後も支援内容との整合性を大切にしながら、分かりやすい情報発信に努めてまいります。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21				・自宅では見せない様子でわからないところもデレで見つけてくださり、組み込んでいただいております。	日々の様子や保護者の皆様からの情報を大切にしながら、子どもの特性や課題を把握し、個別支援計画の作成に活かしています。今後も一人ひとりに合った支援につながるよう努めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の視点を踏まえながら個別支援計画を作成しています。今後も子ども一人ひとりに必要な支援内容を大切にしながら適切な支援の提供に努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				個別支援計画に基づきながら、その日の子どもの様子や体調にも配慮し、柔軟に支援を行っています。今後も一人ひとりに寄り添った支援の提供に努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20					子どもたちの興味や成長に合わせて、季節の行事やさまざまな活動を取り入れています。今後も活動内容が固定化しないよう工夫しながら、楽しく参加できるプログラムづくりに努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	15	1	1	4	・なかなかタイミングが合わないようであまり参加はできていませんが、参加できた時は楽しかったと話してくれます。	今年度は予定が合わず学童クラブとの交流は実施できませんでしたが、公園や図書館への外出時に地域の子どもたちと関わる機会があります。今後も状況に応じて地域との交流の機会を大切にしていきたいと考えています。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					ご利用開始時に、運営規定や支援内容、利用者負担等について説明を行っています。今後も保護者の皆様安心して利用していただけるよう、分かりやすい説明に努めてまいります。	
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					個別支援計画お示しながら、支援内容について説明を行っています。今後も保護者の皆様と共有しながら、理解しやすい説明に努めてまいります。	
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20			1		現在、ペアレントトレーニングとしてのプログラムは実施していませんが、保護者の皆様からのご相談には個別に対応しています。今後も必要に応じて情報提供や相談の機会を大切にしていきたいと考えております。	
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21					・小さい頃より見てくださっている先生方がほんの小さい成長でも見逃さず、話してくださることがとても嬉しいです。	日々の様子について連絡帳や送迎時などを通して保護者の皆様と共有しています。今後も子どもたちの小さな成長変化を大切にしながら、共通理解を深めていけるよう努めてまいります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21				いつも相談に乗っていただき、アドバイスも頂けるので、本当に感謝しています。	定期的な面談や日々の関わりの中で、子育てに際して相談や助言を行っています。今後も保護者の皆様に寄り添いながら、安心して相談できる環境づくりに努めてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、安心して通わせる関わりを大切にしています。今後も共感的関わりを心がけ、信頼関係を深められるよう努めてまいります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	4		1		保護者同士と職員との交流の機会を設けていますが、より充実した機会となるよう内容や開催方法の工夫を検討していきます。今後も参加しやすい形で交流の場を大切にしてまいります。	
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1				迅速に対して下さいます！アドバイスもとても的確で、今後の接し方や見る場所などの参考になります！	相談や申し入れに対して迅速かつ丁寧に対応できるよう体制を整えています。今後も相談しやすい環境づくりと周知に努め、安心してご利用いただけるよう取り組んでまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					連絡帳が見ていないことがたまにあるので、本人が出ていないことはわかっていますが、声かけだけお願いできたら…入れ忘れた時は連絡します！	連絡帳やLINEのメッセージを活用し、日々の様子について情報共有を行っています。一日利用日には写真で様子をお伝えするとともに、連絡帳の提出についても声かけを行い、確実に情報が伝わるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21					毎回、楽しみにしています！楽しそうな子どもたちが可愛いです。	毎月のおたよりや連絡帳を通して情報発信を行っています。現在、HPのリニューアルや公式LINEの運用開始も予定しており、より分かりやすく情報をお伝えできるよう取り組んでまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21						個人情報の取扱いについては、適切な管理と職員間での共有を徹底しています。今後も安心してご利用いただけるよう、引き続き慎重な取扱いに努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1					各種マニュアルを策定し、委員会開催時にはおたより等でお知らせしています。また、感染症発生時にはLINEで情報共有を行っています。今後も周知方法を工夫し、より分かりやすい情報提供に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1					年に2回、避難訓練や防災訓練を実施しています。今後も継続して訓練を行い、いざという時に備えた安全対策の充実に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21						子どもの安全を最優先に考えた支援を行うとともに、安全に関する計画や取組について周知に努めています。今後も安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			2		小さな事柄もきちんと報告されます。こちらが申し訳ないくらいに…	事故や怪我等が発生した際には、速やかな連絡と状況の説明を行っています。今後も小さなことでも丁寧な報告を心がけ、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21					毎回楽しんで通所しており、親として安心しておりります。	子どもが安心して通所できるよう、一人ひとりに寄り添った関わりを大切にしています。今後も安心感を持って通わせる環境づくりに努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21					とても楽しいようです。 長期休みの時の企画など工夫されていて、毎日元気に予定を見えています。	子どもたちが通所を楽しみにできるよう、活動内容や長期休みの企画を工夫しています。今後も一人ひとりが楽しみを感じられるよう、活動の充実に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21					いつもありがとうございます。 *本人の気持ちが子どもに向かない時も、先生方は自身に寄り添ってくださり、本当に感謝しています！おもちゃや施設のものを壊したり、本当申し訳ないことばかりです…親子共々これからもよろしく願います。	日々の支援にご理解と温かいお言葉をいただきありがとうございます。 今後も子どもやご家族の思いに寄り添いながら、一人ひとりに合った支援の充実に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス クローバー		公表日		令和 8年 3月 20日	
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題が必要だと思われる点等	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・利用定員に対して十分な活動スペースを確保し、静かな活動と身体を動かす活動の場所を分けるなど、児童が安全に過ごせる環境づくりを行っています。	・今後も利用児童が安心して活動できるよう、環境設定やスペースの活用方法について継続的に見直してまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・法令で定められている配置基準に加え、職員を1名以上多く配置し、安心して活動できる支援体制を整えています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・古民家の構造上バリアフリー化が難しい部分もあるが、段差のある場所にはマットを敷くなど視覚を行い、児童が安全に移動できるよう環境面での工夫を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・日々の清掃や整理整頓を行うとともに、換気や衛生面にも配慮し、児相が安心して過ごせる清潔な環境づくりに努めています。	・今後も継続して清掃や環境整備を行い、快適に過ごせる環境づくりに努めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・パーテーションを活用して空間を仕切るなど環境設定を行い、子どもの状態に応じて支援室とは別の場所やクールダウンスペースを確保するなど、落ち着いて過ごせる環境づくりを行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・職員間でのミーティングや情報共有を行い、支援内容や業務の振り返りを行うことで、計画・実施・評価・改善のサイクルを意識した支援に取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・年1回の事業所評価の内容を職員と共有し検討すること併せて、面談や送迎時の情報共有を密に行い、保護者の意向を把握するよう努めています。	・保護者の皆様からいただいた意見や要望を大切にしながら、今後も支援内容や事業所運営の改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・定期的なミーティングや日々の申し送りなどを通して職員の意見を共有し、支援方法や業務の見直しに繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	・今年度より、外部社労士との個別面談を行っています。社労士のアドバイスを基に業務改善を行っております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・外部研修への参加や事業所内での研修を実施し、職員の知識や支援技術の向上に努めています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・事業所で行っている支援内容や活動プログラムを整理し、保護者にわかりやすく伝えられるよう公表に努めています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・保護者の皆様からの聞き取りや子どもとの関わりの中でアセスメントを行い、子どもの特性やニーズを踏まえた放課後等デイサービス計画の作成に反映させています。	・児童の特性や保護者の皆様のニーズを踏まえ、職員間で共有や検討を行いながら適切な個別支援計画の作成に努めてまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・支援に関わる職員間で児童の様子や支援内容について共有し、共通理解のもと放課後等デイサービス計画の検討を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・放課後等デイサービス計画の内容を職員間で共有し、児童一人ひとりの目標や支援内容を確認しながら計画に沿った支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・日々の関わりや行動観察を通して児童の様子を把握するとともに、保護者の皆様からの聞き取りなども踏まえながらアセスメントを行い、支援に活かしています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・ガイドラインの内容を踏まえ、本人支援・家族支援・移行支援・地域連携の視点を取り入れながら、子どもの特性やニーズに応じた支援内容を具体的に設定しています。	・ガイドラインの内容を踏まえながら、今後もより具体的に実践につながる支援内容の設定に努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・月のプログラムに関しては、系列内事業所と2事業所と同じプログラムを使用しているため、2事業所のスタッフで話し合いを立案しています。日々のプログラムに関しては、児童の特性やニーズに応じた内容となるようチームで検討しています。	・多様なニーズに対応できる活動プログラムとなるよう、引き続き職員間での検討や工夫を行ってまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・児童の様子やニーズに応じて活動内容を見直しながら、多様なプログラムを取り入れ、活動が固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・児童一人ひとりの特性や状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせるとともに、活動の中で児童の強みや得意なことを活かし、それを活かした支援に繋がっています。	・児童の特性や強みを踏まえた支援がより充実するよう、活動内容や関わり方について継続して検討してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・支援開始前に職員間で情報共有や打ち合わせを行い、支援内容や役割分担を確認することで、連携を図りながら統一した支援が行えるよう努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・支援終了後に職員間で打ち合わせや情報共有を行い、支援の振り返りや気づきを共有することで支援の質の向上につながっています。また、振り返りに参加できなかった職員に対しては別途情報共有を行い、全職員に伝達できるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・日々の支援に関する記録を徹底し、日々の様子や支援内容を職員間で共有することで、支援の検証や改善につなげています。	・記録内容をより支援の質の向上につなげられるよう、今後も記録の充実や活用方法について検討してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・定期的なモニタリングを通して日常の様子や支援状況を確認し、必要に応じて放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5	0	・「自立支援・日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」などを組み合わせ、発達段階やニーズに応じた支援を行っています。	・より効果的な支援につながるよう、今後も各活動のねらいを明確にし、組み合わせ方について検討してまいります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・児童が自ら選択し、意思を表現できる機会を設けるなど、自己決定する力を育てることを意識した支援を行っています。	・児童の発達段階や特性に応じて、より分かりやすい選択肢の提示や支援方法の工夫を行い、自己決定の機会をさらに充実させていくよう努めていきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童の状況を十分に理解している職員、主に児童発達管理責任者を中心に会議へ参加し、支援内容や日々の様子について情報共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・地域の関係機関と連携を図りながら、情報共有や支援方針の統一に努め、児童に対して一貫した支援が行える体制を整えています。	・より質の高い支援につなげるため、関係機関との連携をさらに深めたいけるよう、継続的な情報共有と協働体制の強化に努めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・下校時間や年間行事予定などについては保護者からの情報をもとに把握し、児童の状況や申し送り事項は送迎時に職員間で共有するなど、連絡調整を適切に行い、円滑な連携に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	・就学前に利用していた児童発達支援事業所との間で、児童の発達状況や支援内容について情報共有を行い、相互理解を深めることで、放課後等デイサービスにおける支援が円滑に行える体制を整えています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・今年度は移行の依頼はありませんが、学校卒業後に放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所へ移行する場合は備え、これまでの支援内容や児童の状況について情報提供を行い、相談支援事業所への伝達も行える体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		・外部専門機関との連携をさらに深め、助言や研修内容を日々の支援により反映できる仕組みの検討に、今後も努めてまいります。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・地域の高校生ボランティアとの交流機会を設けることで、児童が異年齢の人と関わる経験を積むことができるよう努めています。	・放課後児童クラブや地域の同世代の子どもとの交流機会をさらに充実させるため、地域の児童館や児童クラブとも連携を図り、イベントの機会を計画的に設けるよう、今後も努めてまいります。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・子ども福祉協議会へ積極的に参加することで、地域全体の支援体制や情報を把握し、日々の支援に活かしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・丁寧な対応を心がけ、送迎時や連絡帳を活用して保護者と子どもの状況を共有し、発達状況や課題について共通理解を図るよう努めています。	・送迎時や連絡帳での情報共有をさらに充実させ、保護者に丁寧に対応するとともに、子どもへの支援の質向上につなげられるよう努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・現状、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)は実施しておりませんが、保護者の皆様への情報提供や日々のやりとりを通じて、家庭での支援に活かせるよう努めています。	・保護者参加型の研修・情報提供の充実に取り組み、家庭での支援に活かせる内容を提供できるよう体制を整え、保護者の皆様との連携をより一層大切にしてまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約の際に、詳しく説明し、保護者の皆様に十分ご理解いただけるよう丁寧な対応を心がけています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・サービス等利用計画に基づき、子どもや保護者の皆様の意思を尊重し、最善の利益を考慮する観点から、面談等で意向を確認する機会を設け、支援内容に反映できるよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・放課後等デイサービス計画を提示し、支援内容について分かりやすく説明を行いながら、保護者の皆様にご理解いただき、同意を得られるよう努めています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・保護者の皆様からの子育てに関する悩みや相談に対して丁寧に対応し、面談や電話での対応も行いながら、助言や支援に繋げられるよう努めています。	・保護者の皆様との信頼関係をより一層深められるよう、丁寧な関わりや継続的な情報共有に努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・年に一回、保護者会(12月)、「わかばcafe」(3月)を開催し、保護者同士が交流できる機会を設けています。また、きょうだい児支援については要望も踏まえ、きょうだい児の交流機会の確保を含め、今後検討してまいります。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		・苦情やご意見を真摯に受け止め、今後の支援の改善につなげていけるよう、丁寧な対応に努めてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・月に一回「つくろだよ」を発行するとともに、連絡帳なども活用しながら、活動概要や行事予定、連絡事項等の情報を保護者のみなさまへ分かりやすく伝えられるよう努めてまいります。	・現在、ホームページをリニューアル中です。また、公式LINEも稼働を予定しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報の取り扱いについて十分に留意し、書類は鍵付きロッカーで保管するなど適切に管理するとともに、職員間でも取り扱いに関する意識の共有を図っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・子どもや保護者の皆様との意思の疎通や情報伝達において、言葉だけでなく視覚的な支援や具体的な表現を取り入れるなど、一人ひとりに応じた分かりやすい伝え方を心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	・ハロウィン行事において、地域の方に協力いただき、子どもたちにお菓子を運ばせていただく役割を担っていただくなど、地域のみならず自然に関わることができる機会を設ける工夫を行っています。	・地域の皆様との交流機会を継続的に確保できるよう、行事の実施方法や時期の工夫を行い、安定した取り組みにつなげていきたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・各種マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施しています。また、避難訓練に加え、感染症等の発生を想定したシミュレーションも行い、職員間での対応力の向上と共通理解の促進に努めています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・非常災害の発生に備え、避難訓練や必要な訓練を定期的に実施し、対応力の向上に努めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・契約時に、服薬状況やてんかん発作の有無など、子どもの健康状態について聞き取りを行い、事前に把握するとともに、職員間で共有し、適切な対応につなげています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・食物アレルギーについては保護者の皆様から聞き取りを行い、内容を把握したうえで、必要な配慮を行いながら対応しております。また、必要に応じて医師の診断書の提示をお願いし、安全面への配慮に努めています。	・今後も、医師の指示書の活用を含め、より安全性に配慮した対応が行えるよう努めてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画を作成し、安全管理に関する研修や訓練を実施するとともに、必要な措置を講じながら、職員間で意識共有を図り、安全管理が十分に行われた中で支援を提供できるよう努めています。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・安全計画に基づく取組み内容について、保護者の皆様へ周知を行うとともに、日頃から情報共有を図りながら、子どもの安全確保に向けた連携につなげています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハット報告書を作成し、原因の分析や再発防止に向けた対策について事業所内で共有するとともに、定期的に見直しを行い、職員間での共通理解を図りながら再発防止と安全性の向上に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・虐待防止に関する研修を年に1回実施するとともに、内容の振り返りや共有を行い、職員一人ひとりの意識向上と適切な対応につなげています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・身体拘束に関する内容については、職員への周知を目的とした研修を実施し、共通理解の促進に努めています。また、令和8年1月更新分より、放課後等デイサービス計画へ記載し、組織的な対応のもと適切に運用しています。